

第5回 春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会

■日時 平成27年6月19日(金) 10:00~12:00	■委員 ・坂口委員長 ・立花委員 ・帆足委員 ・松本委員
■場所 九州ビル 9階 大ホール	・牧角委員 ・辰巳委員 ・松永委員 ・廣瀬委員

出席者発言要旨

・提言書(案)について (○:委員長、●:委員、◎:事務局)

- : 2ページの右下の都市観光の所にある文章、「“福岡ならではの”を目指す内外都市観光客が増加することとなる。」という所の「目指す」という表現は適切か。「内外都市観光客」という単語はあるのかを確認したい。5ページの右下の事業性の所にある「民(みんな)」という書き方は「民(たみ)」とも読めるので、「民間」と変えた方がいいのではないか。
- : 「目指す」という表現は、観光客の増加する・増加させることができるポテンシャルがあるという事を表現している。「観光客の増加を見込むことができる。」に変更し、「福岡ならではの」が二つ続くので、前の「福岡ならではの」を削除して「街並みなど、豊富な観光資源があり」に変更。「民(みんな)」は、「民間」という言葉に変更。
- : 3ページ目の左側のマグネットって部分の見出しで、「磁場ゾーン」という言葉があるが、「磁場」という言葉はすでに広がりがあるものなので、ゾーンを重ねるとおかしいのではないか。「磁場」という表現に変えてはどうか。8ページの、右側の中間駅やバスとの連携イメージというイメージパースがあるが、上のイメージパースには、バス停があり、地下鉄の駅の出入り口があって、イメージがわかるが、下のイメージパースは、何をイメージしているのかわからない。
- : 3ページ、「磁場ゾーン」は「磁場」に変更。8ページ、中間駅やバスとの連携イメージの下のイメージパースは、削除。
- : 全体的にイメージパースや写真の周りをぼかす感じにして、見た人がイメージとして、受け取りやすいようにすべき。
- : 2ページ、都市開発の左のページの、下から2行目。「足を伸ばして回遊し」の「足を伸ばす」は延長の「延」に修正すべき。
- : これからの取り組みを進めるにあたって、市民や地域の方々に、こういう内容で様々な協力をいただき、あるいはこのイメージに添った地域作りをしていただくという事が大事。2020年頃を目指すのならば、ここ一年、あるいは二年でどんなシナリオで、これからの取り組み、これを具体化していく為の進め方を考えているのか。そのためには、シンポジウムを開いてみたり、地域の方々に意見を求めたりという活動が大切だと思います。これからの取り組みを具体化していくために、当面どの様な活動をしていくのか。

- ◎：どのような法律や条例の下でどのような管理をしていくのか、今検討している。橋の架け替えの2～3年前位から地元等を巻き込んで、その管理また運営等について協議を行って行く予定。それにむけて、福岡国道事務所と協調しながら、情報を出していくことが、今の段階では効果的な方法ではないかと考えている。
- ◎：安全性の面を第一に考え、なおかつ有効に活用できるよう、福岡国道事務所・市と協力してやっていく。また、川沿いを下流の方から、地域の景観に配慮したような護岸の整備等を行っている。それぞれの関係者が連携して、この地域のポテンシャルをあげていく努力をしていきたいと考えている。
- ◎：迂回路の仕組みや交通切替等の新しい橋を造るのが、私どもの仕事であると考えている。それから、地域の方や市と協議しながらの交通環境づくりも必要。ただ、今はまだそういう段階ではなく、まずはハード整備を行うことが先だと考えている。
- ：行政プロセスは、粛々とやっていただくという事がかまわない。それとは別に、市民の方々にむけて考え方をどう伝えていくか。提言書の中には、都市戦略的な大きな方向性についても提言しており、イメージ戦略やまちづくりのビジョンについて、市民の方々の意見を求めて皆で議論していく必要があると思う。また、ツーリストの視点から見た場合の、いろんな意見の交換も必要ではないか。今の時点で、市民の方々に向けての情報発信が必要だと思う。また、表紙については、提言の目的をわかりやすい形でタイトルを入れてはどうか。
- ：この内容について確認したい場合、問い合わせ先がわかりにくい。福岡市民が問い合わせをする場合は、福岡市が聞きやすいのではないかと。問い合わせ先を、ホームページ上で明らかにすべき。
- ：議事次第に中間提言とあるが、最終はいつになるのか。この提言書が、最終ではないのか。
- ：中間提言ではなく提言書。表紙はタイトルをつけ、サブタイトルに技術研究会提言という形にしてはどうか。タイトルについては、いくつか案を出していただいた中で検討する。
- ◎：タイトルについては、委員の方の意見を元に、委員長と相談させていただいて修正する。
- ：修正等はあるが、大枠は今回の提言書で了解・了承いただいた。どうも皆さんご協力ありがとうございました。